

五月人形大出賣

御座敷のほり各種
武者人形尚武太刀
布紙製鯉外飾物一式
正札附大特價に差上可申候間何卒御用命仰
付被下度願上候

見易く買易し (定價付)

平町二丁目 洋傘商 陳野洋品店
平町三丁目 四季際物 提灯商 叶加藤商店
平町四丁目角(電話百五十七番) 各料商種 菅野屋商店

五月人形

外のほり

- 大布鯉
- 座敷のほり
- 武者人形

平町四丁目 フクタヤふとん店
平町四丁目(電話七二二番) スガノヤ提灯店

五月人形座敷のほり

銘茶、糸類
外小道具一式
玩具 いづみや

平町二丁目(電話六四九番)



五月二十六日夕刊

日刊 發行所 常盤口新聞社
印刷所 常盤口印刷所
電話六三〇番

久月特製

- 武者人形
- 座敷職
- 布鯉類

大賣出し
平町三丁目 金太郎玩具店

初夏の仕度

青葉若葉のシーズンに相應しい本年流行のお仕度は是非三井の新館陳品を御覧の上におきめ下さい

- 人絹應用織物各種
- 最新柄本セル各種
- 美術洋傘各種

三井呉服店
平町三丁目 電話三十八番

清々しい夏の新装を飾る

単帯
紹小紋
紹の帯皮...等

逸品多数荷揃いたしました

中野 吳服店
電話六七番

退痛散

徳島縣、當金屋、製家傳の藥
神經痛、淋毒、梅毒、脚氣の大妙藥

平町一丁目 大平屋藥店
電話六四二番

本藥は當金屋に於て天長三年今より壹千四百八十六年前より製造し居る藥にして服用者より非常なる賞讃を博しつゝあり

名特 入手提供

福島縣平町五丁目 吉田屋 染工場
電話五五八番 (振替仙台五三二八番)

徒弟入用 一三四歳位ノ者四五名

靈藥ムテキにより

切斷の苦しみがなく而して速くよく癒ります

代理店 阿康藥舖
平町古鍛冶町拾番地 電話四四番

母ヨシ儀豫而病氣の處五月廿五日午後一時三十分死去致候間此段辱知各位に謹告仕り候

追而五月廿七日午後一時より自宅に於て神式を以て告別式相營候

昭和二年五月廿五日

男 上 鈴木 高合
友入總代 親戚總代 鈴木 高合

友入總代 親戚總代 鈴木 高合
友入總代 親戚總代 鈴木 高合

内科 小兒科 花柳科 (需應院入)

平町紺屋町 藤沼醫院
電話四五〇七番

常盤論壇

新時代思潮の傾向 (九)

布川 靜淵

現下の西歐は下層級と見做されたる民衆が、空虚なる政治的の平等の權利に満足せず、無産より轉じて有産たらんとする紛亂の時代に屬する。その消息は叙説するまでもなく、世上大方の熟知する所なれば茲に省略するが、我が日本も亦此潮流に棹さし、現に幾多の社會思想、社會運動を見る之れぞ則ち世界の趨勢であり現代の傾向である。

六

斯の如く經濟的要求を基

調とし、中心として進行する間に於て、新たに一時期を劃したるは、彼の大界大戰と其の後の結果である。則ち西歐文明國の衰頹、労働運動の勃興、社會主義思想の普及、共產主義の鼓吹等を見る。十八世紀末より十九世紀初期に亘れるナポレオン戦争が、西歐の思潮を激變せしめたる如く前古未曾有の世界大戰が、劃時代的影響を各方面に與へつゝあるは怪しむに足らぬ。今其の二三を指摘して見る

ナポレオン戦後の歐洲は所謂反動時代に入り、政治地域を復興し、戦前の舊態を維持するに腐心したるが

世界大戰後は小國分立、大帝政崩壞して社會主義的色彩を濃厚ならしめたるは、歐洲史上稀有の現象である之と同時に國際主義の發展の顯著なるを致した。國際聯盟を設置して労働問題、軍備問題その他種々の協定を計るに至れる如き、從來の國際會議に比し、雲泥の相違を示してゐる。又労働階級の社會主義に屬するインターナショナル運動も、マルクス以來の事なりとは云へ、大戰後に於ては一層盛を致してゐる。(つづく)

愛町至誠の士に告す

大瀧發電所問題行政訴訟に平町側破れしと聞て

川崎
文治

長いものに巻かれる的官尊民卑の弊風は、
壓政と迫害に依つて虐げられ、萎靡し切つ
たが爲め、卑屈に墮した幕末時代の遺
風である、今や新らしき時代に其鳳翼を張
らんとする吾人は斯かる因循姑息なる遺風
に甘んずる事が出来ない、正義の前に敵は
ないのである、若し夫れ正義に双向ふ敵あ
つたさすれば吾人は斷々呼ぶとして起ち、降
魔の利剣を縦横に振つて是れを薙ぎ倒さね
ばならぬ。地方自治体の監督官廳に在る縣
當局が自治の精神を没却し、然も自治体の
根底を蹂躪するの所置に出で尙ほ且つ種々
して顧みない場合、吾人は即ち長いものに
巻かれる的な卑屈な忍苦の生活に耐へ得ら
るべきであらうか、茲に於てか我が墳墓の
地平町には、彼の上水道に大なる脅威を與
ふべき大瀧發電所問題の勃發を見るに至つ
た、然も此の脅威たるや縣當局が自治体の
意嚮を無視せるの行動に基くものである事
を知つた時、三萬町民の公憤は押さへへく
して押ふるによしなく遂に爆發して彼の松
ヶ岡台上町民大會の鋒火に端を發し大瀧發
電所許可反對同盟會の設置となり、三百余
の町民有志は腰辨當を携へて縣廳に出頭そ
の衷情を縷々として訴へた、而して其後も
町當局を始め、縣會議員、町會議員、且つ
又、反對同盟會員等櫛の齒をひくが如く出
縣して失當なる縣の許可を一刻も速やかに
取消されん事を、時の縣知事香坂某に對し
て哀訴嘆願したのである、また一方電氣會
社側の支離滅裂なる宣傳ビラに依り火に油
を注がれた反對同盟會員は、三日三晩に亘
り各班に手分けして街路に立ち同問題の眞
相を路傍の行人に訴ふべく聲をからした、
間もなく熱烈火の如き五名の犠牲者は鐵窓
裡に呻吟するの止むなきに至り大平町の上
下擧つて全く暗愁に閉ざされた、斯かる場
合に於て彼の香坂前知事は何んと云つたか
即ち幾多の陳情者に向つて「氣を安んぜよ
必らず余は責任を以つて平町の爲めに解決
せん」と、其の紋切り型なる契ひの言葉は
いつの日も變らなかつた、而して一方青沼
漆畑の兩氏が調停の爲めに同問題の渦中に
身を投じたのであるが電氣會社の誠意なき
態度に依り調停案は暗礁に乗り上げ頓座を
來して何等前途に光明を見出す處なく終り
其後香坂氏は愛媛縣へ轉任と決し、三萬町
民の夢肩だに忘れる事の出来ない大瀧問題
を未解決の儘尻に帆掛けて走つたのである
而して香坂氏に代つての知事川淵氏は急天
直下「解決は余の手を待つ迄もない、行政
訴訟に依つて其の曲直を決しやう」と願と

して幾多の懇請を退ぞけ自身自から解決の
手を下さうとはしなかつた、茲に於てか平
町は自己の權利を擁護するに法の力を以つ
てするより外はなく行政訴訟界の泰斗岩田
宙造博士の鑑定に基き「正よく邪を制す」
の信念に燃れて訴訟の結果をひたすら待つ
たのである。

以上が大瀧問題勃發以來の概要である、
然るに昨夕突如、吾人の耳を打つた體然
たる一語がある、即ち「行政訴訟の判定に
依れば平町の敗訴と決した」の一語である
此言を聞いて三萬町民中一度は自己の耳を
疑はざるもの幾人かある、余は卒然として
其の虚報たるべきを主張した、然れ共夫れ
が偽りなき事實として吾人の前に迫る確報
頻々たる時、噫!!是れ夢であれかしと祈つ
た、否現在斯くの如くペンを走らせて居る
最中に在つても余は夢幻の中に彷徨して居
るの感を拂へ去る事が出来ない、然れ共翻
つて顧みるに同訴訟は縣知事對平町の間
に醸されたものである、電氣會社對の問題に
關しては未だ少しも解決さるゝに至つては
居ない故に手傷を負つた吾人は更らに平町
を擁護すべく猪突猛進せねばならぬ秋に遭
遇してゐるのである、而して問題後の経過
大要に記せる如く四ヶ年の長日月に亘る町
民多數の血と涙に依る健闘を徒勞に終らし
むる事なきを確保せねばならぬ、此意味よ
りしても町長及び町會議員の引責辭任は一
顧價値なき盲斷である、町長及び町會議員
は町民多數の輿望を擔つて一片愛町の熱誠
を傾け今日に至つたのである、そこには利
權の匂ひもなければ、私情の纏もない、全
々自己を離れて公けの爲めに正義の途を力
強く踏んで來たのである、今後益々大平町
の前途多事ならんことを諸君の力に待つ處甚
だ大なるべき際に當り自治機關の運用上に
多少なりとも支障を來すが如き事あつては
ならぬ筈である、故に吾人は更らに百尺竿
頭一步を進めて諸君の至誠を貫天せしむべ
く大なる期待を保ち然も吾人町民たるもの
協力一致して低迷せる暗雲を平町より一掃
し盡さん事を期し常に諸君の背後に聲援を
措まざるべきを悲壯なる決意の前に契ふ次
第である、最後に此際に於る町民の態度は
飽く迄も自暴自棄的經舉盲動に出ずべきで
ない、未だ判決文も手にせざる今日である
果して如何なる點が敗因であるかを明らか
にされては居ない、吾人の爲すべく果すべ
き幾多の責務は未だ數多く殘されて居る、
吾人は互ひに健康に留意して今後同問題
の推移如何を監視しやうではないか。